

福祉サービス第三者評価（総括表）

①第三者評価機関名

株式会社ケアシステムズ

②施設・事業所情報

名称：かがやき保育園うしく	種別：保育園
代表者氏名：齊藤 佳代子	定員（利用人数）： 19名
所在地：茨城県牛久市田宮町3-11-9フラッツたけ1階	
TEL：029-828-6051	ホームページ： http://www.kagayaki-hoikuen.jp/
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 2017年3月25日	
経営法人・設置法人（法人名等）：株式会社かがやき保育園	
職員数	常勤職員： 4名 非常勤職員： 12名
専門職員	（専門職の名称） 5名 看護師 1名 支援員 2名 調理員 2名
施設・設備の概要	（居室数） 3 （保育室・調理室・事務室） （設備等）

③理念・基本方針

【理念】

人や食との多くの出会いや様々な経験を通して生きていく力の基礎を育む

【保育方針】

- ・遊びを通して相手を思いやる優しい心や集団生活におけるルールを学ぶ
- ・たて割り保育の中で年長児が年少児の手本となり社会性を身につける
- ・野菜や植物を育てる喜びや作る楽しさを経験し、食べるとことへの感謝の気持ちを育む
- ・散歩や戸外遊びを通して四季の変化を肌で感じる

④施設・事業所の特徴的な取組

- ・株式会社かがやき保育園は、株式会社ゼンショーホールディングスの100%子会社であり、企業主導型保育事業として設立し、グループ会社の人材確保や近隣市町村の待機児童数を把握し、「女性の就業継続の促進」「女性の雇用創出」「子ども食育貢献」に取り組んでいる。
- ・保育に関しては保育の質の向上を目指し、職員の意識を高めることに取り組んでいる。具体的には、ヨコミネ式教育法を取り入れ、保育理念とともに学ぶ力・心の力・体の力の3つを重視した保育に取り組んでいる。子どもの自立を促す教育法であり、おたよりや冊子の配布、横峯氏の講演会も実施し、保護や職員の啓発に取り組んでいる。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和 1年 10月 11日（契約日）～ 令和 2年 3月 31日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	初 回

⑥総評

◇特に評価の高い点

①子どもが自発的に、意欲的に参加できるよう、さまざまな取り組みを設けている

・保育メソッドとしてヨコミネ式教育法を取り入れ、保育理念とともに学ぶ力・心の力・体の力の3つを重視した保育に取り組んでいる。子ども自ら積極的に発言し行動できるような環境作りが行われている。また、保育士と子どもが自由に意見交換できる雰囲気作りにも寄与させている。子どもの自立を促す教育法であり、おたよりや冊子の配布、横峯氏の講演会も実施し、保護者への理解も促し評価を得ることにつながっている。

②子どもの支援に必要な情報は児童票にまとめ把握している

・入園時には「ご利用のしおり」を用いて保育内容、注意事項、緊急時等の対応方法などを丁寧に説明し理解を促している。また、子どもの支援に必要な生活状況や健康状態などは、入園時に所定の書式（児童票）に記入のうえ提出をお願いしている。個別面談では、提出書類の内容をさらに詳しく聞き取り、保護者の意向とともに児童票や面談記録に記入している。子どもの個別情報は職員会議の中で報告し、職員間の把握に努めている。

③法人本部と一体となって事業を推進する体制が整っている

・毎月定例の職員会議や保育会議を開催しており、年度初めには園長を中心に業務分担や各担当の割り振りなどを決定し、職員の意見を取り入れながら計画や方針を決定している。各種の課題についても、定例の2会議において検討し、迅速に結論を導き出すことにしている。会議には本部のマネジャーも出席していることや、法人内5園の園長会議も開催しており、法人として連携を図りながら事業運営できる仕組みが整っている。また、それらを集約し、内容とレベルにより課題や方針を決定し現場にフィードバックする仕組みも整っている。

◇改善を求められる点

①園運営に保護者の意向をさらに活かすことを目指している

・登園時には連絡帳や保護者との会話で家庭での様子を聞き取りその日の保育の参考にしていく。送迎時には対応する職員が子どもの1日の様子を伝えられるよう努めている。また、定例の個人面談に加え個別に話や相談がある場合は、気持ちを受け止めたうえで、園でできる支援を行うようにしている。さらに、行事への参加を促し保護者同士が顔を合わせ、互いの子どもの成長や家庭での様子を見ることができ機会を設けることも望まれる。

②さらなる職員の育成を目指している

・職員の育成や評価は、法人保育園共通の人事考課制度によって行われている。内外の職員研修をはじめOJTによって充実を図り、職員が自主的に学びを深め、保育力の向上やそれを支える園内の環境整備に力を入れている。また、自己目標をもとに園長との面談で希望を確認し、自己評価によって達成状況を確認し合い、ふり返りや修正を加えていくことにしている。さらに、職員一人ひとりの保育力の向上に努めることによって、保育の質の向上や遊びを充実させ、子どものより良い発達を促すことを目指している。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

事前の説明からとても丁寧にご対応頂き、園の評価も適切に行われたと認識しております。
様々なご助言を頂いた事に関しては今後の園運営に反映してまいります。

⑧評価細目の第三者評価結果（別紙）